



七松小学校 学校だより

令和元年度
2月号
尼崎市立七松小学校
学校長 森本秀子

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

春は もうそこに、一日一日を大切に！

— きりかぶ うぐいす とまる二月かな — (石鼎)

2月のことを「如月・きさらぎ」といいます。如月の由来は、まだ寒さが残っているの
で、衣(きぬ)を更に着る月であるから「衣更着(きさらぎ)」という説と、草木の芽が
張り出す月であるから「草木張月(くさきはりづき)」という説があります。寒さのきび
しい月ですが、月の初めに立春を迎えて、気持ちの上では、ほっと一息つくような明るさ
をおぼえます。これから日中の時間は次第に長くなっていきます。春はもうそこまで来て
います。一日一日を大切にしっかりと学習のまとめに力を入れていきたいと思ひます。

さて1月のオープンスクールでは、理科集会や情報モラル研修、お茶会等の出前授業も
あり、子どもたちの笑顔が輝きました。廊下に張り出された書き初め展も力作揃いでし
た。保護者・地域の皆様、お忙しい中ご来校いただき、本当にありがとうございました。

先日、早稲田大学の河村茂雄教授の講演を聴く機会がありました。これからの時代は、
世界的なインターネットの普及とともに、情報や知識、技術が世界に流通展開し、変化が
速く大きく、先のことがわからない時代になる。そこで必要とされる人間力は、「自分の
感情をコントロールでき、他者とつながる力」の育成であるそうです。自分の力はたかが
知れている、だからこそ他者を尊敬し、他者の力を自分に取り入れる時に大きな成果が出
るのだと知りました。有名企業でも最終面接をクリアする人は、面接官から見て「一緒に
仕事をしたい人」だそうです。このことから学校・学級のあり方を考えていくと、いろん
な子が、いろいろな意見を安心して言えるクラスが良いのだとわかります。本校には「七松
スタイル」という学習の進め方があり、授業では「本時のめあて、一人思考、ペア、グル
ープでの対話・意見交流、本時でついた力のふりかえり」があります。これからも、時代
を見据え、対話・交流を大切に、共に伸びる授業を展開していきたいと思ひます。

<校長室の窓から(抜粋)>「歯みがき講習会—8020をめざして—」

1・3・5年生対象に歯みがき講習会がありました。講師は奥野歯科衛生士さんで
す。はじめは「8020運動」についてです。これは80歳
になっても20本以上自分の歯を保とうという運動です。虫
歯のでき方のお話の後、実際の500mlのジュースには、
スティック砂糖が20本も入っていることから、のどが渇い
た時はお茶が良いことがわかり、虫歯予防は「甘いもの
とり過ぎや、だらだら食べをやめる」ことを教わり、最後
に歯の染め出しをしました。磨けていない所は赤く残りま
す。みんな赤くなった自分の歯を見て驚いていました。正
しい歯磨きの仕方を教えていただき、磨きなおしました。

